



人が創る、人が住む、豊かな郷土づくり

一般財
団法人

熊本県建設技術センター

Business guide

KUMAMOTO CONSTRUCTION
TECHNOLOGY CENTER

業務案内
2025



センターの取り組みと概要

一般財団法人熊本県建設技術センターは、公共事業の円滑な執行と建設関連産業の発展に資することを目的として、熊本県と市町村、建設産業団体からの出捐により昭和 59年に公益法人として設立され、公益法人制度改革三法に従い、平成 25年4月から一般財団法人に移行しました。

これまで当センターでは、建設技術にかかる専門的な知識を習得するための研修、建設工事の品質確保に必要な材料試験、県・市町村支援のための積算の受託等の業務に取り組んでまいりました。

また、近年では、公共事業やインフラメンテナンス、防災・減災、国土強靱化の取組等に対応した研修会の開催や、発注者の働き方改革の推進及び公共工事の品質確保に向けた発注者支援業務に取り組んでいます。

今後とも、関係各位のニーズに的確にお応えできるよう職員一同誠心誠意努めてまいります。

1. 概要

設立年月日	昭和59年3月27日(熊本県指令監査第54号)
基本財産	18,000千円(自己資本14,000千円)
出損団体	県:2,000千円、市町村:1,000千円、建設業団体:1,000千円
敷地面積	12,305㎡(建物面積 2,045㎡)

2. 沿革等

昭和59年3月	財団法人熊本県建設技術センター設立(所在地/熊本市神水2丁目)
9月	研修・試験棟の建設に着工(60年7月竣工)
昭和60年4月	熊本県工業試験場土木試験室の業務を継承
7月	研修・試験業務を開始(所在地/下益城郡城南町)
平成8年4月	地方公共団体等からの受託業務を開始
平成25年4月	財団法人から一般財団法人へ移行

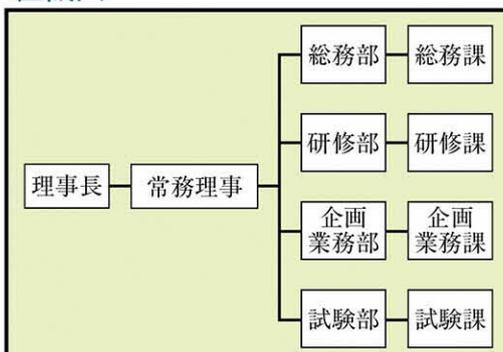
3. 事業内容(定款第4条)

- 1) 建設技術者その他建設事業に従事する者の研修
- 2) 建設事業に使用する資材の試験・調査研究ならびに広報活動
- 3) 地方公共団体等の建設工事に関する技術審査、成果品審査、積算及び現場監督業務の受託
- 4) その他、設立目的を達成するために必要な事業

4. 組織

組織図

令和7年4月1日 現在(単位:人)



区分	事務	技術	嘱託等	合計
理事長		1		1
常務理事 (兼企画業務部長 兼企画業務課長)		1(1)		1(1)
総務部	総務課	3	3	6
研修部	研修課	1	1(1)	4(1)
試験部	試験課	1	7	12
企画業務部	企画業務課		8(1)	8(1)
合計	5	18(3)	9	32(3)

()は県派遣職員の内数

研修業務

県、市町村、建設業、測量設計業及び地質調査業等の職員を対象に、次の研修を実施しています。

1. 一般研修 建設技術等の知識習得を目的とした研修

(主な研修内容)

- ・ 工事積算、測量、施工管理等
- ・ コンクリート及びアスファルト舗装等の材料・品質管理
- ・ 橋梁等の計画・設計、点検、維持管理等
- ・ インフラDX

2. 実務研修 パソコン等を使用したCAD等の操作習熟等を目的とした研修

(主な研修内容)

- ・ 電子納品の検収及び作成
- ・ CADの操作

なお、土木学会及び土木施工管理技士会連合会の継続教育制度（CPD,CPDS）の認定にかかる申請も行っています。



大研修室(講義)



ボーリング調査の実演



小研修室 CALS/EC実習



橋梁点検現地実習

※研修室の貸付も行っています。

詳細については、当センターホームページをご覧ください。

試験業務

建設工事の適正かつ円滑な執行を図ると共に、品質確保のため、工事で使用する材料の試験や審査を行っています。

1. 試験 コンピュータ制御による最新の機器で試験を行い、信頼のあるデータを提供します。

試験区分	試験項目
コンクリート関係試験	圧縮試験、曲げ試験、引張試験、中性化深さ試験、静弾性係数試験、硬化コンクリート中に含まれる塩化物イオンの試験、長さ変化試験、練り混ぜ水（回収水及び上水道水以外の水）試験、懸濁物質の量、溶解性蒸発残留物の量、塩化物イオン量、水素イオン濃度等
アスファルト試験	コア密度試験、コア抽出ふるい分け試験、アスファルト回収試験、針入度・軟化点・伸度試験、マーシャル安定度試験等
骨材試験	密度・吸水率試験、ふるい分け試験、単位容積質量試験、微粒分量（洗い）試験、有機不純物試験、すりへり試験、安定性試験、軟石量試験、粒形判定実積率試験、舗装用フィラー・石粉試験等
土質試験	土粒子密度試験、含水比試験、粒度試験、液性限界・塑性限界試験、突固め試験、CBR試験、一軸圧縮試験等
その他の試験	割ぐり石・石材関係試験（コア抜き含む）、比重・吸水率、圧縮強度等



圧縮強度試験



は、産業標準化法に基づく試験事業者登録制度の標章です。当センターは、コンクリート・セメント等無機系材料強度試験区分の登録試験事業者で、140356JPは当センターの登録番号です。

製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号
試験方法規格

JIS A 1106 (ただし、供試体作製を除く)

JIS A 1108 (ただし、供試体作製及び付属書 I を除く)

これらを引用する規格

JIS A 5308 9.2.1 及び 9.2.2

2. アスファルト事前審査

県の公的試験機関として、「熊本県アスファルト混合物の事前審査要領（令和4年4月改訂）」に基づき、アスファルト混合物の適正且つ安定した品質の確保を図ると共に、発注者及び製造所の業務の合理化、省力化等の支援をしています。

- 書類審査
- マーシャル密度・安定度試験
- アスファルト抽出試験・抽出後の骨材ふるい分け試験
- アスファルト混合所立入り調査確認



アスファルト抽出試験

受託業務

県・市町村等が公共事業を適正で円滑に執行できるよう、様々な業務を平成 8年度から受託しています。

1. 積算業務 公共工事の発注に必要な積算業務を受託します。



◆主な適用工種

- ・橋梁長寿命化修繕計画を踏まえた工事:
①架け替え(新設)工事 ②橋梁補修(補強)工事
- ・一般土木工事:③道路新設 ④公共土木施設の災害復旧工事
- ・その他:⑤機械設備工事等

◆期待できる効果

- ・マンパワー不足の解消・低減
- ・積算の精度向上
- ・公共工事の品質確保等

◆その他

- ・市町村で主に使われている積算システムを使用して、納品できます。
- ・当業務に「2. 成果品審査業務」を加えることで、公共工事の品質確保が更に向上します。

2. 設計等支援業務

県・市町村等で発注する設計委託等において、円滑に進むよう設計協議等に同席し、技術的助言を行います。

3. 橋梁点検業務(地域一括発注・代行)

市町村が行う橋梁定期点検業務をセンターが代わって行います。

- ・センターは、市町村に代わって橋梁定期点検を調査業者(設計コンサルタント等)に発注し、協議、監督及び検査をします。
- ・センターは、調査業者の調査結果(点検及び健全性の診断結果)を市町村に引き渡します。



◆導入効果

- ・事務の軽減(設計書作成、入札手続き、監督・設計協議・検査等)
- ・診断結果の精度向上
- ・長寿命化修繕計画への適切な反映

4. その他

- (1)総合評価技術審査補助業務・・・総合評価方式で発注する工事等にかかる技術審査(評価基準や評価)資料作成の補助
- (2)総合評価事前登録補助業務・・・総合評価方式にかかる企業等の事前審査
- (3)現場監督業務・・・公共工事の工事監督補助
- (4)成果品審査業務・・・設計委託成果品の審査・助言

アクセスマップ



このマークは、Kumamoto Construction Technology Centerの頭文字をデザイン化したものです。
色は火の国熊本の心と風土を「清らかな水を青」「美しい自然を緑」「情熱を赤」として、この3つの要素を活かして発展していくことを表現しています。

- 車の場合**
 - 熊本空港より ▶ 益城熊本空港IC経由、城南SIC下車の経路は車で約35分(約27km)
 - 一般道利用、車で約45分(約25km)
 - JR熊本駅より ▶ 一般道利用、車で約30分(約16km)
 - JR宇土駅より ▶ 一般道利用、車で約20分(約10km)
 - ※目安時間に交通渋滞は考慮されていません。
- バスの場合**
 - 桜町バスターミナルから舞原団地前(バス停)までバスで45分
 - 舞原団地前(バス停)から徒歩で10分(約14km)
 - 南熊本(バス停)から舞原団地前(バス停)までバスで40分
 - 舞原団地前(バス停)から徒歩で10分(約12km)

一般財団法人 熊本県建設技術センター

〒861-4214 熊本県熊本市南区城南町舞原東194番地

総務部 TEL 0964-28-6926
 研修部・企画業務部 TEL 0964-42-9030・FAX 0964-28-7260
 試験部 TEL 0964-42-9040・FAX 0964-28-8428
 URL: <http://kuma-ctc.or.jp/>

(作成年月日:令和7年4月1日)